

福島第一原子力発電所現地確認報告書

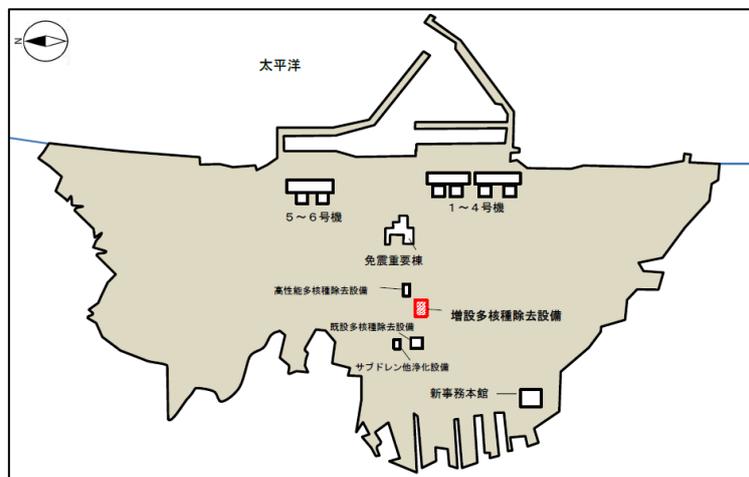
- 1 確認日
令和2年12月14日（月）
- 2 確認箇所
増設多核種除去設備
- 3 確認項目
増設多核種除去設備（B）クロスフローフィルタろ過水白濁の原因調査の状況
- 4 確認結果の概要

令和2年9月23日に、増設多核種除去設備（B）のクロスフローフィルタ（以下、「CFF」という。）通過直後のろ過水に薄い白濁が確認されたことから、東京電力は部品交換作業による停止期間（9月23日～10月26日）が空けた10月27日にCFF通過直後のろ過水を分析（採水箇所：CFF二次側ドレンライン）したところ、全6基中3基で通常より高いカルシウム濃度が確認された。

このため、東京電力は原因について調査を実施する予定とのことであったため、本日は当該原因調査の状況を確認した。

なお、当該事象により増設多核種除去設備（B）は停止となるが、東京電力によると他の系統により処理運転は可能であることから、日々の処理に影響はないとのことである。

- ・現場確認した際、増設多核種除去設備（B）では、CFF内の残水移送作業が実施されていた。（写真1）
- ・東京電力によると、残水移送作業後にCFFの内部確認を実施し、原因の調査を実施するとのことであった。



(図1) 福島第一原子力発電所構内概略図



(写真1-1)
増設多核種除去設備 (B) CFFスキッド外観の状況



(写真1-2)
スキッド内の状況
残水移送作業用のホースが敷設されていた。



(写真1-3)
スキッド入口の状況
入口に残水移送作業用のポンプが設置されていた。

- 5 プラント関連パラメータ等確認
本日確認したデータについて、異常な値は確認されなかった。